

保護者のみなさま

河内長野市立楠小学校  
校長 坂田 臣織

令和5年度 学校教育アンケート 集計結果について

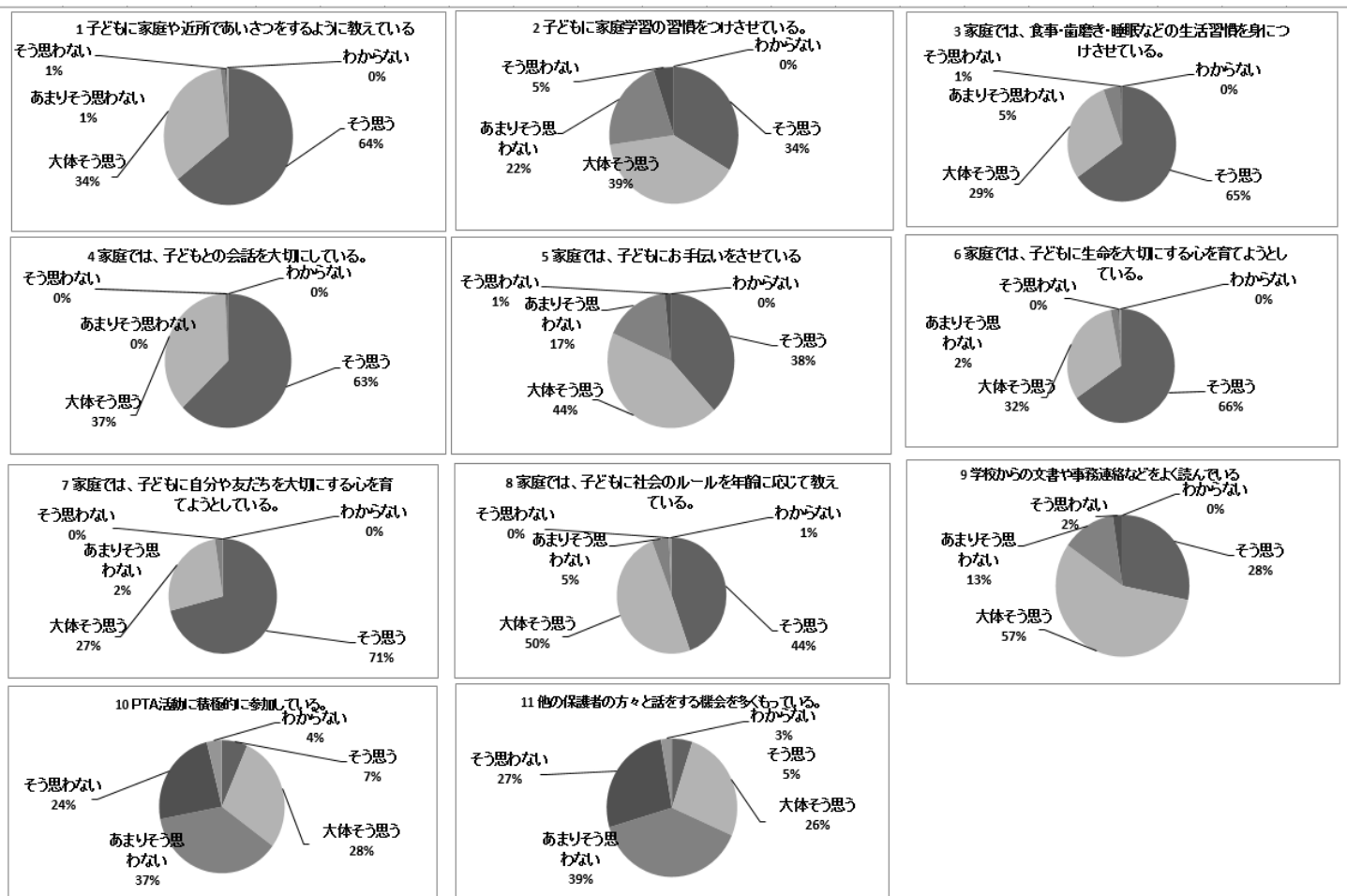
向春の候、保護者のみなさまにはますますご健勝のことと存じます。平素は、本校の教育活動にご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、本年度も本校教育活動を振り返る「学校教育自己診断」としまして、5年生児童と保護者のみなさまを対象に学校教育アンケートを実施いたしました。その集計結果を別紙のとおりまとめ、結果からわかった本校の成果、課題、改善方策を記載しました。

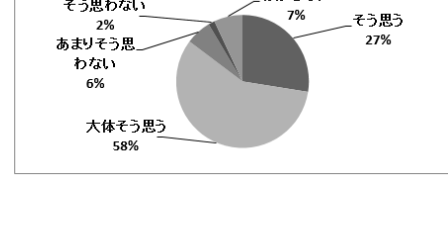
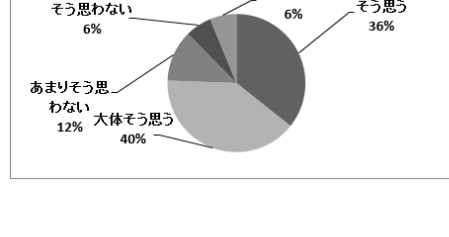
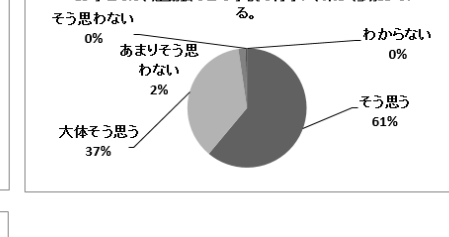
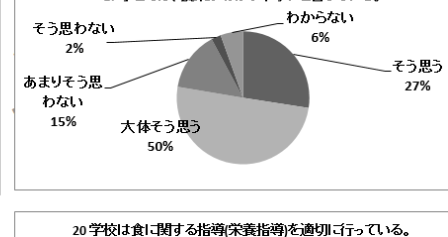
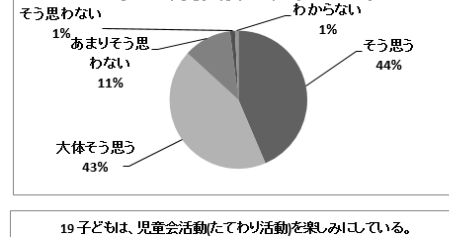
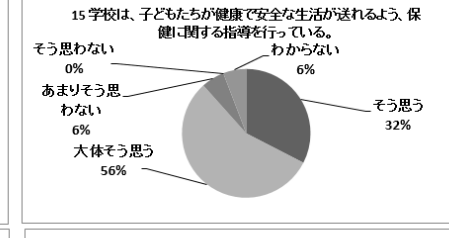
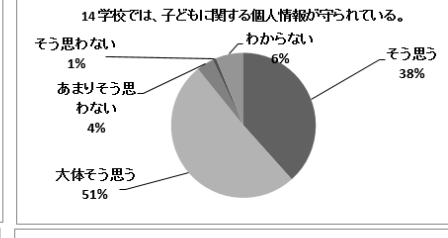
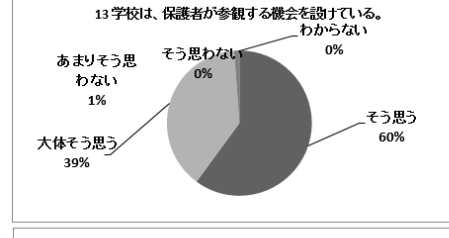
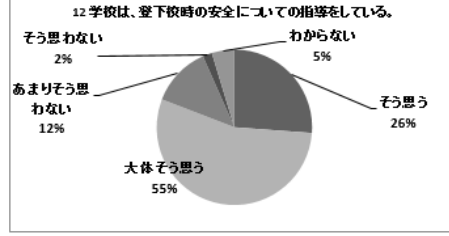
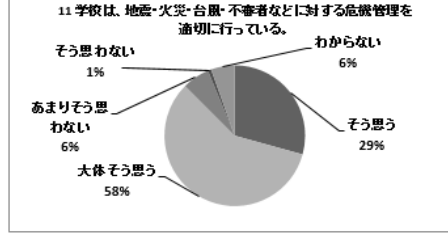
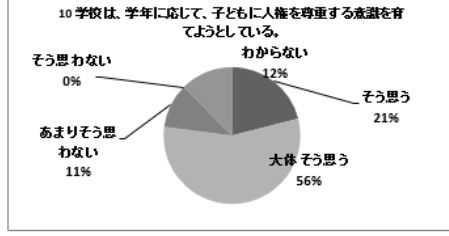
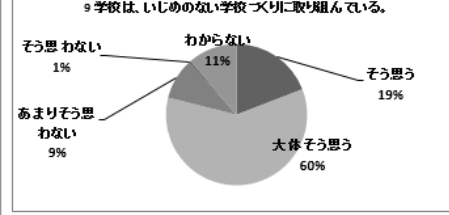
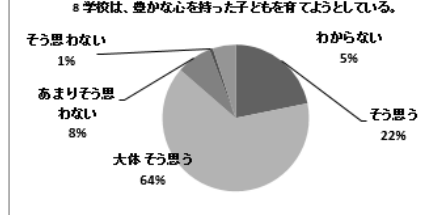
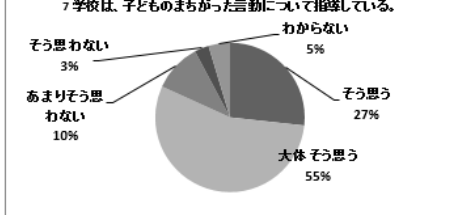
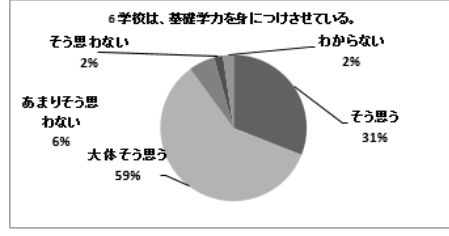
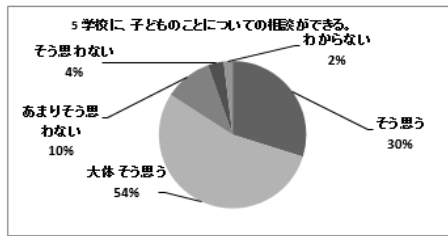
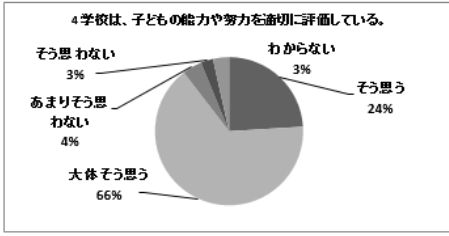
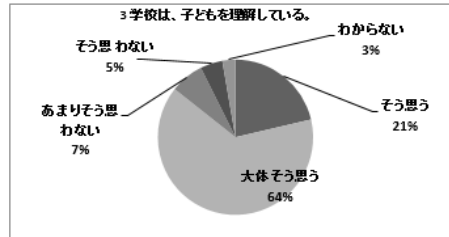
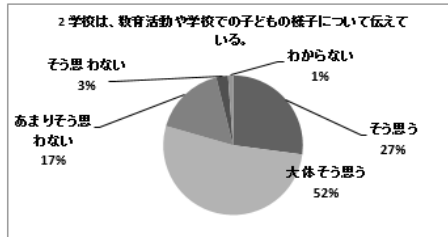
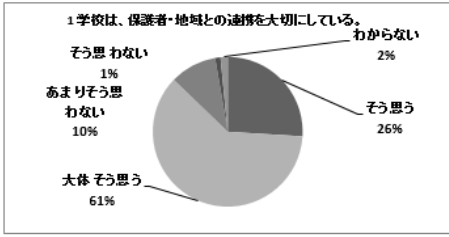
つきましては、保護者のみなさまに配付させていただきますのでご覧いただき、今後とも本校の教育活動へのさらなるご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

★保護者アンケート結果★ (アンケート有効回答数 258 88%)

【家庭教育について】



【学校教育について】



## 【保護者アンケート集計結果からみる成果・課題・改善方策】

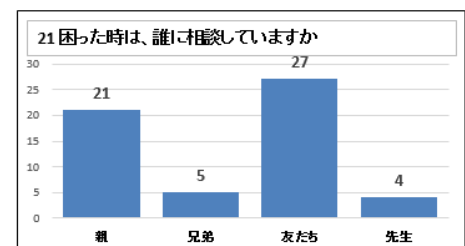
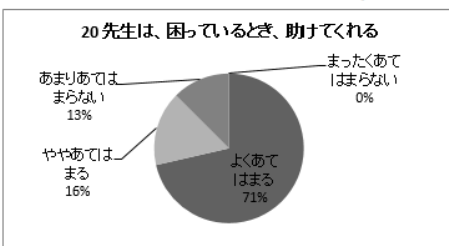
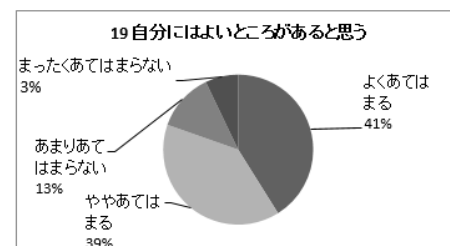
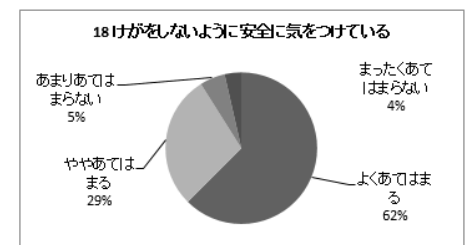
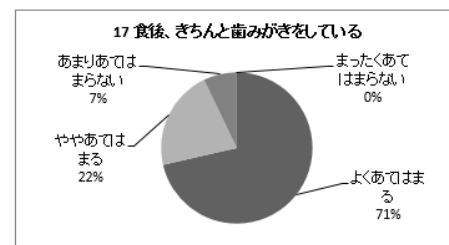
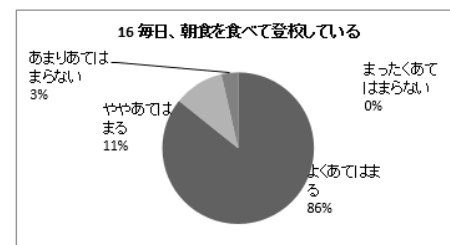
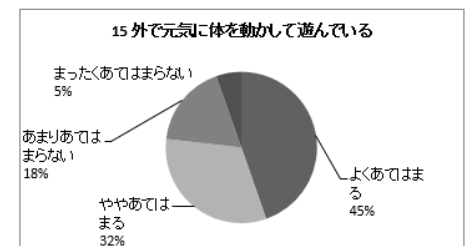
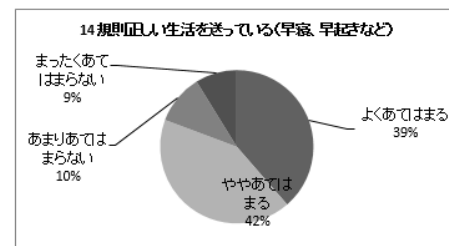
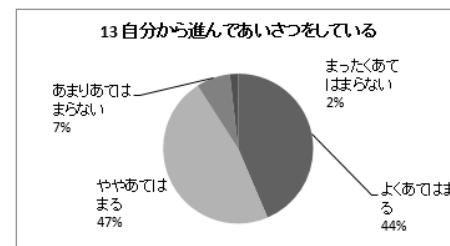
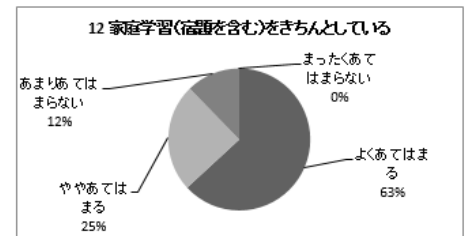
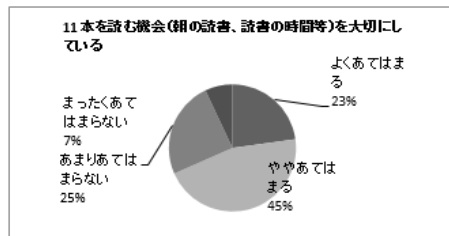
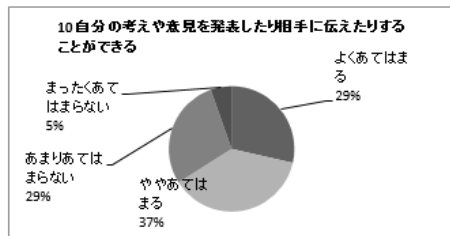
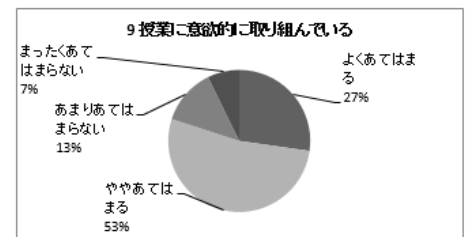
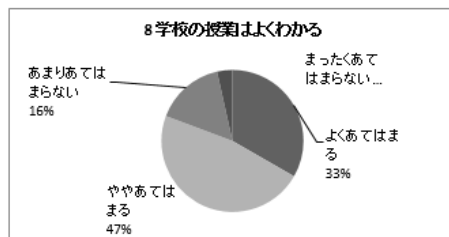
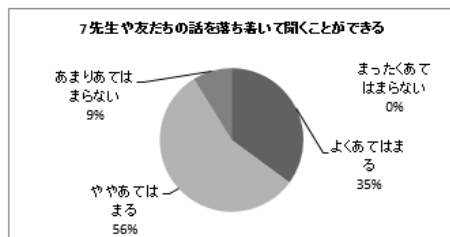
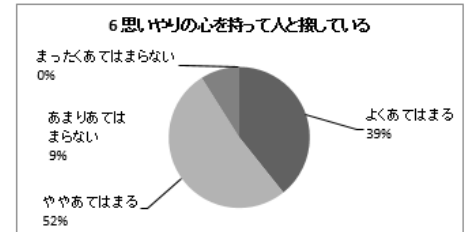
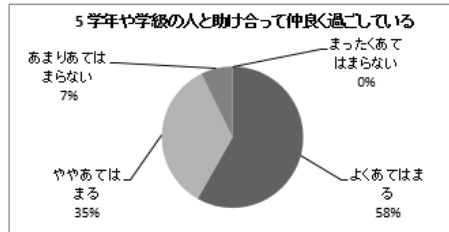
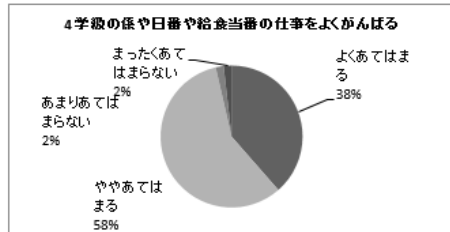
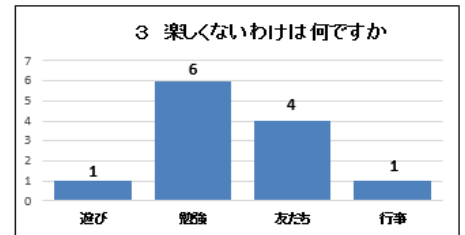
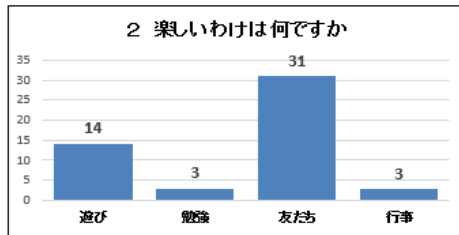
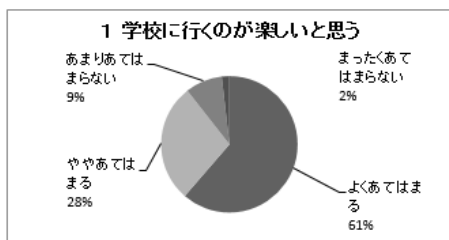
### 【成果】

- 「家庭教育1.子どもに家庭や近所であいさつをするように教えている」と「家庭教育4.家庭では、子どもとの会話を大切にしている」の2つの項目において、肯定的な回答が9割近くあり非常に高い数値になっています。  
⇒この項目は、肯定的な回答が例年多いです。ご家庭での温かい声かけは、子どもたちの「私はできる!」という自信につながり、その自信が「こんなこともやってみよう!」という学力向上にもつながります。引き続きご家庭での、温かい声かけをお願いいたします。
- 「学校教育6.学校は、基礎学力を身につけさせている」の項目では、肯定的な回答が昨年同様9割近くとなっています。  
⇒授業において、子どもたちに考えたことを書く場面を多く取り入れました。また低・中・高学年のそれぞれのグループで研究授業を行い、子どもたちの学力向上につながる授業となるように日々研鑽を積んでおります。
- 「学校教育16.子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」の項目において、肯定的な回答が9割近くありました。  
⇒次ページにある児童アンケートでもこの項目の肯定的回答は非常に高いです。子どもたちが「学校へ行こう!」と思っているのは、とても嬉しいことです。各御家庭において、子どもたちの頑張りを大いに褒め、ちょっと嫌だったことも上手に聞き出していただいているおかげです。我々教職員も、「明日も学校へ行こう!」と思える魅力ある学校づくりを引き続き行っていきます。
- 「学校教育18.子どもは運動会などの学校行事に楽しく参加している」の項目で肯定的な回答が95ポイントと非常に高い数値となっています。  
⇒新型コロナウイルスの感染者数が減ってきて、少しずつではありますが、学校行事もコロナ前に戻そうとした一年間でした。そのような中で、ほとんどの子どもたちが楽しく参加している回答したのは、我々にとって大変励みになります。

### 【課題と改善方策】

- 「家庭教育2.子どもに家庭学習の習慣を付けさせている」の項目において、否定的な回答が3割近くありました。  
⇒小学生のうちに家庭学習の習慣をつけておくと、中学校での学力向上につながります。宿題をきっちり取り組むよう親御さんから声かけや、宿題の確認などをお願いいたします。
- 「家庭教育11.他の保護者の方々と話をする機会を多く持っている」の項目において、肯定的な回答がコロナ前に比べると少なくなっており、コロナが落ち着いた今年度でも、まだ少ない傾向が続いています。  
⇒コロナ禍の影響で、学校においても保護者間の交流の場が極端に少なくなり人とのつながりが作りづらいことが続きました。その影響なのか、学年懇談会を開いても非常に参加者が少なかったです。お子さんの健やかな成長には、保護者同士のつながりも大切です。学年懇談会や参観に積極的に参加いただき、保護者同士のつながりを育んでいただければと思います。

# ★児童アンケート結果（5年生）★



## 【児童アンケート集計結果からみる成果・課題・改善方策】

### 【成果】

- 「13.自分から進んであいさつをしている」という項目では、肯定的な回答が9割を超えている。  
⇒中学校から、気持ちの良い挨拶ができる生徒が増えていると聞いています。毎朝行っている下足室前でのあいさつ活動や、定期的に行っている「あいさつリンピック」等の取り組みの成果が少しずつ出ていると思われます。
- 「1.学校に行くのが楽しいと思う」の項目の肯定的回答が9割近くあり、昨年よりも8ポイントも増えています。
- 「20.先生は困っている時助けてくれる」の項目で「よくあてはまる」の回答が7割を超え、「全くあてはまらない」の回答が0でした。  
⇒学校に行くのが楽しいと思える理由の一つとして、教師が困っている時に助けてくれるというところがあるのかもしれませんが。安心・安全な学校づくりを引き続き行っていきます。
- 「14.規則正しい生活を送っている」の項目の肯定的回答が8割を超えており、昨年よりも5ポイント増えています。  
⇒「早寝・早起き・朝ごはん」を徹底することで生活リズムは整ってきます。これらを心がけている児童が多いことはとても喜ばしいことです。
- 「9.授業に意欲的に取り組んでいる」の項目では、肯定的な回答が8割あり、昨年より5ポイント高くなっています。
- 「10.自分の考えや意見を発表したり相手に伝えたりすることができる」の項目では、肯定的な回答が6割を超えており、昨年よりも5ポイント高くなっています。
- 「12.家庭学習(宿題を含む)をきちんとしている」の項目では、「よくあてはまる」の回答が6割を超えており、「ややあてはまる」も合わせると9割近くになっている。  
⇒授業に意欲的に取り組み、自分の意見は考えを発表し、おうちに帰ってから宿題等をきっちりと取り組むという児童が多いことが伺えます。

### 【課題と改善方策】

- 「8.学校の授業はよくわかる」の項目では、肯定的な回答が8割と例年より少し低くなっています。  
⇒授業のはじめに、学習のめあてを明確にし、児童が見通しをもって参加できるようにするとともに、子どもたちが主体的に取り組もうとする授業作りを行っていきます。
- 「11.本を読む機会(朝の読書、読書の時間帯)を大切にしている」の項目では、肯定的な回答が7割弱とやや低い傾向が見られます。  
⇒読書タイムや図書時間の充実、各単元に関連した本を図書館から借りるなど、引き続き子どもたちが本にふれる機会を持てるようにします。
- 「15.外で元気に体を動かして遊んでいる」の項目の肯定的な回答が7割程度であり、低い傾向が見られます。  
⇒現在も行っている、体育委員会主催の体づくりや各クラスでの朝の体幹1分間トレーニング、みんな遊びなどの取り組みを続けて行くことで、体を動かすことや外で遊ぶことの楽しさを伝えていくようにします。

楠小の良かったところは次年度も継承し、改善できるところは、よりよくなるように改善して参ります。今後とも学校と保護者のみなさまとの連携をより密にしながら、地域に開かれた信頼される学校づくりに努めて参ります。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。